

# 玉掛け技能講習を

Projector-pro イーランニング

# 大迫力の画面で合格

PCに接続したプロジェクタ、モニタで再生する教材です

まずはホームページより無料でサンプルのダウンロード

<http://www.hirotech.jp/>

IT教材による能力向上、人材育成を!!

興味を持って、集中すれば人の能力は無限に成長します。わたしたちは、おもに集中する安全・技術教育および訓練用のシステムや教材を考案・製造しています。

大迫力の各種技能講習教材のサンプルはこちらからダウンロードください。お手持ちのPCに接続した、プロジェクタやモニタで大迫力画面をご覧ください。

- フォークリフト技能講習 (大迫力教材サンプル版ダウンロード)
  - 荷役編 力字編
  - 法令編 走行編 (お26アップ予定)
- 玉掛け技能講習 (大迫力教材サンプル版ダウンロード)
  - 知識編 力字編
  - 法令編 取扱い編

取扱 32 補助具

2. まくら (台木)

玉掛け作業を効率よく安全に行うため、ワイヤロープや品物を保護するため。

両方のまくらがそろっている 両方のまくらがそろっていないため不安定

●まくらの正しい持ち方

- 指で横からおさえる
- 両側から手を添えて持つ
- 上から持つのは危険

取扱 1 玉掛用具の安全係数

クレーン等の玉掛けに使用する玉掛用具の安全係数は、クレーン等安全規則にて

玉掛用具	安全係数
① 玉掛け用ワイヤロープ	6以上
② つりチェーン	4以上 (一定) または 5以上
③ フック・シャクル	5以上

安全係数 =  $\frac{\text{切断荷重 (破断荷重) (KN)}}{9.8 \times \text{安全荷重 (t)}}$

安全荷重 (t) =  $\frac{\text{切断荷重 (破断荷重) (KN)}}{9.8 \times \text{安全係数}}$

安全荷重破壊する基準と限度とで、表示

A : 力の作用点  
B : 力の向き  
C : 力の大きさ (矢印長さ)

Aを作用点として、A→B方向 (力の向き) と A→B矢印 (力の大きさ) で、物体に与える効果を示す

必ず、力の大きさ、力の向き、力の作用点の3要素があり、これを力の3要素という

お問い合わせは

ヒロテック

E-mail: [webmater@hirotech.jp](mailto:webmater@hirotech.jp)  
TEL:049-231-3266